

D01 自治体職員のための簿記・公会計(導入編)	
平均所要時間	60分
対象業務	財政、起債、資金運用、地方公会計、一般会計各事業、公営企業各事業、管理職の方
難易度	★☆☆
学習の目的	地方公会計制度や地方公営企業会計制度で活用される複式簿記の基本的な仕組みについて理解する。
前提知識	特になし
学習目標	「学習の目的」と同様
コース構成	<p>CHAPTER1 会計と簿記 [6:20] 会計と簿記 / 会計の果たす役割と簿記の目的 / 会計の種類</p> <p>CHAPTER2 単式簿記と複式簿記 [7:29] 単式簿記と複式簿記とは? / 複式簿記の特徴 / ストック・フローとは? / なぜ複式簿記が必要なのか? / 複式簿記の目的とは?</p> <p>CHAPTER3 複式簿記の基本的な仕組み [4:46] 複式簿記の基本的なルール / 複式簿記の5つの要素</p> <p>CHAPTER4 複式簿記と財務書類 [12:25] 複式簿記の5要素と報告書類の関係 / 複式簿記における増減の表し方 / 貸借対照表における各要素の理解(資産) / 貸借対照表における各要素の理解(負債) / 貸借対照表における各要素の理解(純資産) / 損益計算書における各要素の理解(収益) / 損益計算書における各要素の理解(費用) / 貸借対照表と損益計算書の関係 / 目的に応じた財務報告書類の作成</p> <p>CHAPTER5 複式簿記・発生主義の特徴 [7:16] 現金主義と発生主義 / 現金主義と発生主義の収益認識のタイミング / 発生主義固有の処理(減価償却費) / 発生主義固有の処理(退職給付引当金)</p>